





大分大学
経済学部合格

やったあー！



高校の卒業式
後輩から花束をもらおう

のちの妻になりました



1986年4月
大分大学経済学部入学



勉学以外にも
家庭教師や
兵庫県の製鉄所で
住み込みの
アルバイトも経験



アルバイト代で
念願の中古
中型バイク購入♪

瀬戸大橋を
渡って
四国一周だ！

第二外国語は中国語
中国のシルクロードへ
大学時代の旅は
一番の思い出に！



卒業論文は「消費税」
大学4年生の時に
消費税がスタート
もって深掘りして
書いておけばと
今になって思う



大学卒業…
迷いに迷って
就職は
一旦見送ろう



1990年(平成2年)
竹田へ帰郷
岡城からの景色は
いいなあ



同年7月
2回目の竹田大水害
自宅も浸水
もやし工場は
壊滅的！

この災害で
父は家業を諦める



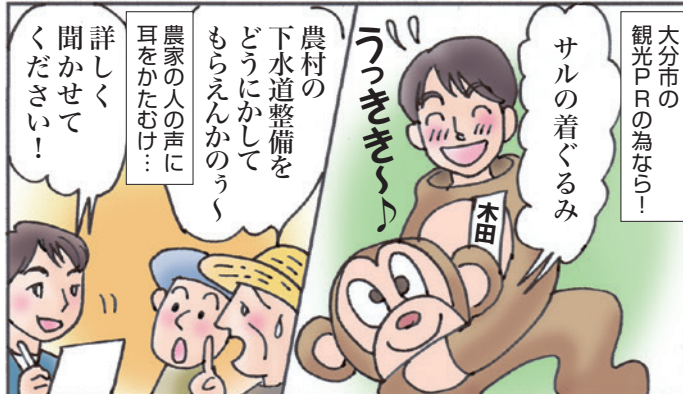
竹田市臨時職員として
災害復旧に従事
公務員の仕事に
やり甲斐を
感じるなあ！



1991年4月
大分市役所に入職
観光PR・農業振興・
IT政策に従事

竹田市役所で
パソコンの知識を
先輩や同僚から
得たのが
役立った！

システム
開発で
何度も徹夜

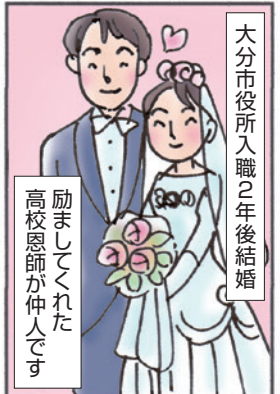


サルを着ぐるみ

うっきききき

農村の
下水道整備を
どうにかして
もらえんかのう

農家の人の声に
耳をかたむけ！
詳しく
聞かせて
ください！



大分市役所入職2年後結婚

励ましてくれた
高校恩師が仲人です



28歳の時に
大分市職員労働組合の
青年部長を務める
組合活動を通じて
行政施策・社会情勢に
問題意識を持つ

労働組合の
執行委員長を
2期務め終えて

これで一息
つけるなあ…



そのころ
「地方消滅」という本を
読んでいて…

人口減少や少子高齢化に
危機感を抱いていた

やってみよう
立候補してみるよ！



県議会議員
選挙へ出て
くれませんか！
え？
↑組合の後輩



選挙!?

子ども達が笑顔で
暮らせる
大分にしたい!!

やりましょーっ！

23年半勤めた
公務員をやめて
立候補を決意！



2015年4月
大分県議会議員選挙に
47歳で初当選

木田昇
県民の
皆さまの為に
頑張ります！



木田 昇

2期目の議会質問

2019年

第4回
定例会議会

一般質問

1. 大分県の新たな地方創生
 - ①まち・ひと・しごと総合戦略
 - ②関係人口の創出・拡大
 - ③ワーケーション
2. 企業版ふるさと納税
3. 先端技術への挑戦
 - ①先端技術企業の誘致による地域活性化
 - ②IT技術者の育成・確保
 - ③子どもたちの科学体験
4. MaaS (Mobility as a Service)
5. 歴史遺産としての城の活用



2020年

第3回
定例会議会

一般質問

1. 地域公共交通
2. 持続可能な観光
3. 花に関連する施策
 - ①花き生産振興と消費拡大
 - ②花を通じた教育
4. 新交通管理システムの運用状況と利用拡大
5. ダム等の洪水調整機能
6. 戦争遺跡の保存・伝承



2021年

第2回
定例会議会

一般質問

1. 九州ブランドのPR拠点づくり
2. 電気自動車 (EV)
 - ①EVシフトに伴う影響等
 - ②EVの普及
3. ツール・ド・九州2023
4. デジタルトランスフォーメーション (DX) の推進
5. 避難所運営
 - ①避難者の良好な生活環境の確保
 - ②災害時における重度障がい児者へのケア体制
6. 教育分野でのデジタル技術の活用
 - ①GIGAスクール
 - ②デジタル文化資源



2022年

第1回
定例会議会

一般質問

1. 地方移住
 - ①地方回帰と移住政策
 - ②地方移住のサポート体制
2. ポストコロナのツーリズム
 - ①ユニバーサルツーリズム
 - ②サイクルツーリズム
 - ③観光コンテンツとしての空港の活用
3. フードテック
4. 在来種苗の継承
5. 青少年のICTの利用



2022年

第3回
定例会議会

代表質問

- 1 社会経済の変容を踏まえた地方創生の取組
- 2 物価高騰下における賃金引上げ
- 3 大分空港・宇宙港将来ビジョン
- 4 子どもに関する施策
- 5 新型コロナウイルス感染症対策における情報発信
- 6 業務継続計画
- 7 半導体産業の活性化
- 8 大分港大在地区の利用促進
- 9 ポストコロナを見据えた観光振興
- 10 部活動の地域移行
- 11 将来を担う県職員の確保
- 12 労働委員会における相談体制



木田昇の
質問視聴はこちら



県議会ホームページにて
本会議の中継録画を視聴できます

大分県議会中継



→「議員から選ぶ」→「木田昇」を選択



2023年 新しい大分が動きはじめる。

大分空港・宇宙港将来ビジョン ドリームポートおおいたの実現



大分の空の玄関口「大分空港」の利用者は、かつて200万人を突破しましたが、コロナ禍の影響で2021年度は90万人を割り込みました。ポストコロナにおける県経済や観光の反転攻勢、また地方創生の加速前進には大分空港の活性化が原動力となります。(2022年9月13日代表質問)

県は、大分空港のめざすべき将来像を明確にし、官民一体となって戦略的に取り組む方向性を示す「大分空港・宇宙港将来ビジョン」を2022年9月に策定しました。

✈️ 乗降客数目標

	令和5(2023)年度	令和14(2032)年度	令和32(2050)年度<参考>
合計	約200万人	約 260万人	約 320万人
国内線	約190万人	約 230万人	約 280万人
国際線	約10万人	約 30万人	約 40万人



Credit: Virgin Orbit/Greg Robinson.

I. 航空ネットワークの拡充

路線誘致・定着に向けたエアポートセールス体制の構築

- 国内線：新たな地域間路線誘致の検討
- 国際線：東アジア・東南アジア主要都市路線誘致の検討

II. アジアと宇宙をつなぐ宇宙港の実現

- 「有人宇宙旅行」等の将来的な輸送ビジネスに対応し得る「宇宙港」の実現
- 宇宙港を活用した観光プログラムや受入環境の整備

III. 空港アクセスの充実

- 2023年度中にホバークラフトを運行開始
 - 空港を起点としたMaaS*の導入に向けた取組の推進
- *航空機・ホバー・JRなど複数の移動手段を組み合わせ、検索・予約・決済を一括で行うシステムの導入

IV. 機能の拡充・魅力向上

- 空港を活用した大分県の魅力・観光情報等の発信や県産品販売の強化
- 空港施設・空港車両等からのCO₂排出量削減

宇宙ノオンセン県 オオイト 売出中!

大分空港は米国のヴァージン・オービット社とパートナーシップ協定を結び、人工衛星を飛行機から空中で打ち出す「水平型宇宙港」となります。

今、県内の温泉旅館や観光施設などで特典が受けられる「宇宙人割」が注目を浴びています。

協賛施設にて宇宙人であることを自己申告（宇宙人パスポートを提示するか「ワレワレハウチュウジンダ」と伝える）すると特典が受けられます。

宇宙人パスポート（右の画像）の裏面にスタンプを集めましょう！

*パスポートのダウンロードは
<https://uchunooita.pref.oita.jp/>



*キャンペーンは
2023年2月28日まで



木田昇の公式SNSはコチラ

木田昇の議会・政務活動を随時更新中。

ご意見・ご要望なども、お気軽にご連絡ください！

*QRコードからお友達登録・フォロー等を
よろしくお願いたします。



県民クラブHPはコチラ
<https://kenmin-club.com/>

